

表 1-1 学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ (機械工学科) (令和5年度専攻科入学者用)

学習・教育到達目標 記号 大項目	カリキュラムポリシー 学習・教育到達目標と 関係	分野別要件(融合複 合・新領域の「基礎 工学の知識・能力」)	学科第1学年 (H30年度)		学科第2学年 (H31年度)		学科第3学年 (R02年度)		学科第4学年 (R03年度)		生産システム・環境工学プログラム [※]				専攻科第1学年 (R05年度)				専攻科第2学年 (R06年度)				分野別要件(融合複 合・新領域の「基礎 工学の知識・能力」)
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期			
(A) 人間の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観をもった技術者の育成	学習・教育到達目標(A)~(C)		世界史 現代社会	日本史 現代倫理	化学	経済学(O) 哲学(O) 歴史学(O)	文学(O)	科学哲学(O)	地球文化論														
(B) すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成	学習・教育到達目標(B)		英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語多読	英語 II A 英語 II B 英語 II C 英語多読	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多読	英語 IV コミュニケーション特講(O)	英語 V A(O) 英語 V B(O) 英語 V C(O) 英語 V D(O) 英語 V E(O)	英語特講(O)	総合英語(O)	日本語文化(O)	日本文化論(O)	実用英語(O)											
(C) 早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけ、総合的視野をもち、多様な価値観をもった技術者の育成	学習・教育到達目標(C)	(数学、物理学)	基礎数学A 課題数学 基礎基礎演習	基礎数学C 代数学例 物理A	微分積分 I 微分積分 II 線形代数 物理B 物理C 初等力学A 初等力学B	応用数学 I A(O) 統計学(O)	応用数学 I B(O) 統計学(O)	応用数学 II A(O) 物理 II A(O)	応用数学 II B(O) 物理 II B(O)	応用解析(O)	応用代数(O)	量子物理学(O)	物理学(O)	電子機械システム工学特別研究 I(O)	電子機械システム工学特別研究 II(O)								
(D) 工学の専門知識とものづくりスキルを身につけ、情報技術を駆使できる技術者の育成	学習・教育到達目標(D)		基礎情報処理	情報処理	情報処理演習 材料科学 I	制御工学 A(O) 材料科学 II(O) 物理学 I A(O)	制御工学 B(O) 物理学 I B(O)	制御工学 C(O) 物理学 II A(O)	制御工学 D(O) 物理学 II B(O)	数値解析法(O)	知的財産権概論(O)												
(E) 多面的思考力と計画力をもつ、課題の解決と技術の発展を実現できる技術者の育成	学習・教育到達目標(E)~(G)		機械工学概論	基礎情報処理	情報処理演習 材料科学 I	材料力学 I A(O) 熱力学 A(O) 流体力学 I A(O)	材料力学 I B(O) 熱力学 B(O) 流体力学 I B(O)	材料力学 II A(O) 熱力学 II A(O) 流体力学 II A(O)	材料力学 II B(O) 熱力学 II B(O) 流体力学 II B(O)	材料強度学(O) 材料学 II(O) 流体力学 II(O) メカトロニクス(O)	伝熱工学(O)	環境エネルギー工学(O)	流体工学(O)	精密加工(O)	CAD/CAE(O)	精密加工(O)	信号理論(O)	物体科学(O)	電子物理学(O)	生産システム工学(O)	電子機械システム工学特別研究 I(O)	電子機械システム工学特別研究 II(O)	
(F) 地域の産業と社会に貢献し、持続可能な発展に貢献する技術者の育成	学習・教育到達目標(F)		機械工学実験実習 I	機械工学実験実習 II	総合製作 機械工学実験実習 III	電子回路 A(O) 設計演習(O)	電子回路 B(O) 設計演習(O)	科学技術英語 I(O)	科学技術英語 II(O) 論文特講(O)	卒業研究(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	電子機械システム工学特別実演(O)	
(G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己発展できる技術者の育成	学習・教育到達目標(G)		健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	

カリキュラムポリシー
 学科 機械工学科は、ディプロマポリシー(学位授与の方針)に掲げた知識・技能などを育成するために、低学年では一般科目を中心に工学基礎科目を織り交ぜ、学年が上がるにつれ専門科目を多く学ぶ「きよ型」の教育課程を編成します。そして、国立高等専門学校機械モデルコアカリキュラム「技術者が備えるべき能力」を育成する講義、演習、実験、実習又は実技を適切に組み合わせた授業を行います。その評価は、学修成果の到達目標に対する達成度により行います。
 専攻科 電子機械システム工学専攻は、ディプロマポリシー(学位授与の方針)に掲げた知識・技能などを高め、学士(工学)の学位が取得可能な教育課程を編成します。そして、国立高等専門学校機械モデルコアカリキュラム「技術者が備えるべき能力」を育成する講義、演習、実験、実習又は実技を適切に組み合わせた授業を行います。その評価は、学修成果の到達目標に対する達成度により行います。
 講義: 30.0 単位
 演習: 3.0 単位
 実験実習: 5.0 単位
 講義: 25.0 単位
 演習: 3.0 単位
 実験実習: 5.0 単位
 講義: 24.0 単位
 演習: 4.0 単位
 実験実習: 5.0 単位
 講義: 36.0 単位
 演習: 1.0 単位
 実験実習: 7.0 単位
 講義: 42.5 単位
 演習: 0.0 単位
 実験実習: 23.0 単位
 講義: 50.0 単位
 演習: 2.0 単位
 実験実習: 20.0 単位
 講義: 20.0 単位
 演習: 4.0 単位
 実験実習: 10.0 単位
 科目名 = 講義
 科目名 = 演習
 科目名 = 実験・実習
 ※ 生産システム・環境工学プログラムにおいて、対応する学習・教育到達目標の達成に重要な位置づけにある科目には○、特に重要な位置づけにある科目には◎を付している。

表1-3 学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ (電子制御工学科) (令和5年度専攻科入学者用)

学習・教育到達目標 記号・大項目	カリキュラムポリシーと学習・教育到達目標との関係(「基盤工学」の知識・能力)	学科第1学年 (H30年度)		学科第2学年 (H31年度)		学科第3学年 (R02年度)		学科第4学年 (R03年度)		学科第5学年 (R04年度)		生産システム・環境工学プログラム ^{※1}				専攻科第1学年 (R05年度)	専攻科第2学年 (R06年度)		分野別条件(融合複合・新領域の「基盤工学」の知識・能力)	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期		第1学期	第2学期		第3学期
(A) 人間の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観をもった技術者の育成	学習・教育到達目標(A)~(C) (学科) 1. 感性ゆたかな技術者としての能力育成 2. 教養、工学基礎、倫理観など技術者が分野共通で備えるべき基礎的能力を育成する授業を配置します。	世界史 現代社会		日本史 現代倫理				文学(O)		経済学(O) 哲学(O) 歴史学(O)		科学哲学(O)								
(B) すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもつ、多様な価値を理解できる技術者の育成	(専攻科) 1. 感性ゆたかな技術者としての能力育成 2. 教養、工学基礎、倫理観など技術者が分野共通で備えるべき基礎的能力を育成する授業を配置します。	英語		英語		英語		英語(O)		英語VA(O) 英語VB(O) 英語VC(O) 英語VD(O) 英語VE(O)		総合英語(O)		日本語文化(O)						
(C) 早期技術教育の特色を生かし、科学と技術の基礎を身につけて、健全で創造的な技術者の育成	(学科) 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成 (専攻科) 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成 ①設計・システム系 ②情報・論理系 ③材料・バイオ系 ④力学系 ⑤社会技術系	基礎数学A 基礎数学B	基礎数学C	微分積分I	微分積分II	工業数学I A 工業数学I B	工業数学II A 工業数学II B	応用数学I A(O) 統計学(O) 工業数学II	応用数学I B(O)	応用数学II	物理学II A(O)	物理学II B(O)	データ通信学(O)	物理学II B(O)	知的財産権概論(O)					
(D) 工学の専門知識ともつくりスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成	学習・教育到達目標(D) (学科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成 (専攻科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	制御工学I A(O) プログラミング演習I(O) 電子デバイス工学(O) 物理学I A(O)	制御工学I B(O)	制御工学II	制御工学II	制御工学II	制御工学II	制御工学II	制御工学II					
(E) 多面的思考力と計画力をもつ、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成	学習・教育到達目標(E)~(G) (学科) 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成 (専攻科) 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成	電子制御工学実験I	電子制御工学実験II	電子制御工学実験III	電子制御工学実験IV	電子制御工学実験V	電子制御工学実験VI	電子制御工学実験VII	電子制御工学実験VIII	電子制御工学実験IX	電子制御工学実験X	電子制御工学実験XI	電子制御工学実験XII	電子制御工学実験XIII	電子制御工学実験XIV					
(F) 地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応える実践力のある技術者の育成	(専攻科) 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成 (専攻科) 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成	電子制御工学実験I	電子制御工学実験II	電子制御工学実験III	電子制御工学実験IV	電子制御工学実験V	電子制御工学実験VI	電子制御工学実験VII	電子制御工学実験VIII	電子制御工学実験IX	電子制御工学実験X	電子制御工学実験XI	電子制御工学実験XII	電子制御工学実験XIII	電子制御工学実験XIV					
(G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己充実できる技術者の育成	学習・教育到達目標(G)	電子制御工学実験I	電子制御工学実験II	電子制御工学実験III	電子制御工学実験IV	電子制御工学実験V	電子制御工学実験VI	電子制御工学実験VII	電子制御工学実験VIII	電子制御工学実験IX	電子制御工学実験X	電子制御工学実験XI	電子制御工学実験XII	電子制御工学実験XIII	電子制御工学実験XIV					

カリキュラムポリシー

電子制御工学科は、ディプロマポリシー(学位授与の方針)に掲げた知識・技能などを育成するために、低学年では一般科目を中心に工学基礎科目を履修させ、学年が上がるにつれ専門科目を多く学ぶ「くまび型」の教育課程を編成します。そして、国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラム「技術者が備えるべき能力」を育成する講義、演習、実験、実習又は実技を適切に組み合わせた授業を行います。その評価は、学修成果の到達目標に対する達成度により行います。

電子機械システム工学専攻は、ディプロマポリシー(学位授与の方針)に掲げた知識・技能などを高めた、学士(工学)の学位が取得可能な教育課程を編成します。そして、国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラム「技術者が備えるべき能力」を育成する講義、演習、実験、実習又は実技を適切に組み合わせた授業を行います。その評価は、学修成果の到達目標に対する達成度により行います。

講義: 29.0 単位	講義: 27.0 単位	講義: 30.0 単位	講義: 39.0 単位	講義: 45.0 単位	講義: 50.0 単位	講義: 20.0 単位
演習: 3.0 単位	演習: 2.0 単位	演習: 4.0 単位	演習: 2.0 単位	演習: 1.0 単位	演習: 2.0 単位	演習: 4.0 単位
実験実習: 5.0 単位	実験実習: 5.0 単位	実験実習: 5.0 単位	実験実習: 8.0 単位	実験実習: 23.0 単位	実験実習: 23.0 単位	実験実習: 10.0 単位

科目名 = 講義 科目名 = 演習 科目名 = 実験・実習

※ 生産システム・環境工学プログラムにおいて、対応する学習・教育到達目標の達成に重要な位置づけにある科目には○、特に重要な位置づけにある科目には◎を付している。

表 1-4 (M) 学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ (物質工学科, 材料工学コース) (令和 5 年度専攻科入学者用)

学習・教育到達目標	カリキュラムポリシー と学習・教育到達目標との関係	分野別要件(総合履修領域)の「基礎工学的知識・能力」	学科第1学年 (H30年度)		学科第2学年 (H31年度)		学科第3学年 (R02年度)		学科第4学年 (R03年度)		生産システム・環境工学プログラム [※]				専攻科第1学年 (R05年度)	専攻科第2学年 (R06年度)		分野別要件(総合履修領域)の「基礎工学的知識・能力」			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	第1学期	第2学期		第3学期	第4学期		第1学期	第2学期	第3学期
(A) 人間の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観をもった技術者の育成	学習・教育到達目標(A)~(C) (学科) 1. 感性豊かな技術者としての能力育成 2. 職業、工学基礎、倫理観など「技術者が分野共通で備えるべき基礎的能力」を高める授業を配置します。 (専攻科) 3. 人間の未来をきひく創造的技術者としての能力育成		世界史 現代社会	現代社会	日本語 現代倫理	現代倫理			経済学(O) 哲学(O) 歴史学(O)	文学	科学哲学(◎)	地域文化論									
(B) すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもつ、多様な価値観を理解できる技術者の育成	学習・教育到達目標(B) (学科) 3. 人間の未来をきひく創造的技術者としての能力育成		英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語多様	英語 II A 英語 II B 英語 II C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多様	
(C) 早期技術者教育の特色を生かし、科学的・創造的・倫理的・社会的な能力を身に付けた、健全で創造的・倫理的・社会的な技術者の育成	学習・教育到達目標(D) (学科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成 3. 人間の未来をきひく創造的技術者としての能力育成	(数学、物理学) ①設計・システム系 ②情報・制御系 ③材料・バイオ系 ④力学系 ⑤社会技術系	基礎数学A 課題数学	基礎数学B 課題数学	基礎数学C 代数幾何	微分積分 I 確率	微分積分 II 確率	応用数学 I A (◎) 統計学 (◎)	応用数学 I B (◎) 統計学 (◎)	応用数学 II A (◎) 物理学 II A (◎) 化学システム制御 (◎)	応用数学 II B (◎) 物理学 II B (◎) 化学システム制御 (◎)	応用解析 (◎) 量子物理 (◎)	応用代数 (◎) 物理学 (◎)	応用解析 (◎) 量子物理 (◎)	応用代数 (◎) 物理学 (◎)	応用解析 (◎) 量子物理 (◎)	応用代数 (◎) 物理学 (◎)	応用解析 (◎) 量子物理 (◎)	応用代数 (◎) 物理学 (◎)	応用解析 (◎) 量子物理 (◎)	
(D) 工学の専門知識ともつくりのスキルを兼ね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成	学習・教育到達目標(D) (学科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成 3. 人間の未来をきひく創造的技術者としての能力育成		基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	基礎情報処理	
(E) 多面的思考力と計画力をもつ、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成	学習・教育到達目標(E)~(G) (学科) 3. 人間の未来をきひく創造的技術者としての能力育成		分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	分析化学	
(F) 地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成	学習・教育到達目標(F) (学科) 3. 人間の未来をきひく創造的技術者としての能力育成		基礎化学 I 物理化学 I 有機化学 I	基礎化学 II 物理化学 II 有機化学 II	基礎化学 III 物理化学 III 有機化学 III	基礎化学 IV 物理化学 IV 有機化学 IV	基礎化学 V 物理化学 V 有機化学 V	基礎化学 VI 物理化学 VI 有機化学 VI	基礎化学 VII 物理化学 VII 有機化学 VII	基礎化学 VIII 物理化学 VIII 有機化学 VIII	基礎化学 IX 物理化学 IX 有機化学 IX	基礎化学 X 物理化学 X 有機化学 X	基礎化学 XI 物理化学 XI 有機化学 XI	基礎化学 XII 物理化学 XII 有機化学 XII	基礎化学 XIII 物理化学 XIII 有機化学 XIII	基礎化学 XIV 物理化学 XIV 有機化学 XIV	基礎化学 XV 物理化学 XV 有機化学 XV	基礎化学 XVI 物理化学 XVI 有機化学 XVI	基礎化学 XVII 物理化学 XVII 有機化学 XVII	基礎化学 XVIII 物理化学 XVIII 有機化学 XVIII	
(G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発できる技術者の育成	学習・教育到達目標(G) (学科) 3. 人間の未来をきひく創造的技術者としての能力育成		基礎化学演習 I 物理工学概論	基礎化学演習 II 物理工学実験(化学)レポート作成法	基礎化学演習 III 物理工学実験(分析)	基礎化学演習 IV 物理工学実験(有機・生化学)	基礎化学演習 V 物理工学実験(物化)	基礎化学演習 VI 物理工学実験(材料)	基礎化学演習 VII 物理工学実験(高分子)	基礎化学演習 VIII 物理工学実験(化学工学)	基礎化学演習 IX 物理工学実験(食品)	基礎化学演習 X 物理工学実験(環境)	基礎化学演習 XI 物理工学実験(科学技術)	基礎化学演習 XII 物理工学実験(生産システム)	基礎化学演習 XIII 物理工学実験(生物)	基礎化学演習 XIV 物理工学実験(情報)	基礎化学演習 XV 物理工学実験(社会)	基礎化学演習 XVI 物理工学実験(国際)	基礎化学演習 XVII 物理工学実験(文化)	基礎化学演習 XVIII 物理工学実験(芸術)	基礎化学演習 XIX 物理工学実験(スポーツ)

カリキュラムポリシー
学科
物質工学科は、ディプロマポリシー(学位授与の方針)に掲げた知識・技能などを育成するために、専攻科では一般科目を中心に工学基礎科目を履修させ、学年が上がるにつれ専門科目を多く学ぶ「(さび)型」の教育課程を編成します。そして、国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラム「技術者が備えるべき能力」を育成する講義、演習、実習、実習又は実技を適切に組み合わせ授業を行います。その評価は、学修成果の到達目標に対する達成度により行います。

専攻科
物質工専攻科は、ディプロマポリシー(学位授与の方針)に掲げた知識・技能などを高め、学士(工学)の学位が取得可能な教育課程を編成します。そして、国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラム「技術者が備えるべき能力」を育成する講義、演習、実習、実習又は実技を適切に組み合わせ授業を行います。その評価は、学修成果の到達目標に対する達成度により行います。

講義: 29.0 単位
演習: 5.0 単位
実習実習: 3.0 単位

講義: 27.0 単位
演習: 2.0 単位
実習実習: 4.0 単位

講義: 25.0 単位
演習: 1.0 単位
実習実習: 8.0 単位

講義: 33.0 単位
演習: 0.0 単位
実習実習: 12.0 単位

講義: 44.0 単位
演習: 0.0 単位
実習実習: 25.0 単位

講義: 42.0 単位
演習: 2.0 単位
実習実習: 20.0 単位

講義: 24.0 単位
演習: 4.0 単位
実習実習: 10.0 単位

科目名 = 講義
科目名 = 演習
科目名 = 実習・実習

※ 生産システム・環境工学プログラムにおいて、対応する学習・教育到達目標の達成に重要な位置づけにある科目には◎、特に重要な位置づけにある科目には◎を併記している。

表1-4 (B) 学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ (物質工学科, 生物応用コース) (令和5年度専攻科入学者用)

学習・教育到達目標 記号 大項目	カリキュラムポリシー 学習・教育到達目標との関係	分野別要件(総合型・新領域の「基礎工学の知識・能力」)	学科第1学年 (H30年度)		学科第2学年 (H31年度)		学科第3学年 (R02年度)		学科第4学年 (R03年度)		生産システム・環境工学プログラム ^{※1}				専攻科第1学年 (R05年度)				専攻科第2学年 (R06年度)				分野別要件(総合型・新領域の「基礎工学の知識・能力」)
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期			
(A) 人間の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を備えた技術者の育成	学習・教育到達目標(A)~(C) (学科) 1. 感性ゆたかな技術者としての能力育成 2. 倫理観など「技術者が分野共通で備えるべき基本的能力」を育成する授業を配座します。 (専攻科) 1. 感性ゆたかな技術者としての能力育成 2. 倫理観など「技術者が分野共通で備えるべき基本的能力」を育成する授業を配座します。		世界史 現代社会	日本史 現代倫理		化学 生命環境基礎 音楽		文学(O)	経済学(O) 哲学(O) 歴史学(O)	科学哲学(O)	地域文化論												
(B) すくれたコミュニケーション能力と国際的視野をもつ、多様な価値観を尊重できる技術者の育成	学習・教育到達目標(B) (学科) 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成 (専攻科) 3. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成		英語 I A 英語 I B 英語 I C 英語多読	英語 II A 英語 II B 英語 II C 英語多読	英語 III A 英語 III B 英語 III C 英語多読	英語 IV コミュニケーション特選(O)	英語 I (O)	英語 V A (O) 英語 V B (O) 英語 V C (O) 英語 V D (O) 英語 V E (O) 英語特選(O)	総合英語(O)	総合英語(O)	日本語文化(O)	日米文化論(O)	実用英語(O)										
(C) 早期技術者教育の特色を生かし、科学と技術の基礎を身につけた創造的技術者としての能力育成	学習・教育到達目標(C) (学科) 4. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成 (専攻科) 4. 人間の未来をきりひらく創造的技術者としての能力育成	(数学、物理学)	基礎数学A 基礎数学B 基礎数学C 微分積分 I 微分積分 II 線形代数 代数学 I 代数学 II	基礎数学C 微分積分 I 微分積分 II 線形代数 代数学 I 代数学 II	基礎数学C 微分積分 I 微分積分 II 線形代数 代数学 I 代数学 II	微分積分 I 微分積分 II 線形代数 代数学 I 代数学 II	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	基礎情報処理 情報処理 I 基礎生物学 物理 A 物理 B 物理 C 物理学実験(O)	
(D) 工学の専門知識ともつづらぬ専門的知識を駆使できる技術者の育成	学習・教育到達目標(D) (学科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成 (専攻科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成		分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	分析化学 無機化学 I 無機化学 II 物理化学 I 物理化学 II 有機化学 I 有機化学 II 高分子化学 物理化学演習 基礎化学演習 I 基礎化学演習 II 物質工学概論 物質工学実験(化学) レポート作成法 物質工学実験(分析)	
(E) 多面的思考力と計画力をもつ、課題の解決と技術の開発を遂行できる技術者の育成	学習・教育到達目標(E) (学科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成 (専攻科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成		技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習	技術科学フロンティア概論 自己啓発型課題学習
(F) 地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応える実践力のある技術者の育成	学習・教育到達目標(F) (学科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成 (専攻科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成		インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	インターンシップ I (O) インターンシップ II (O)	
(G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発できる技術者の育成	学習・教育到達目標(G) (学科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成 (専攻科) 2. 実践力のある技術者としての能力育成		健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	健康・体育	

カリキュラムポリシー
学科
物質工学科は、ディプロマポリシー(学位授与の方針)に掲げた知識・技能などを育成するために、低学年では一般科目を中心に工学基礎科目を履修させ、学年が上がると専門科目を多く学ぶ「くさび型」の教育課程を編成します。そして、国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラム「技術者が備えるべき能力」を育成する講義、演習、実習、実習又は実習を適切に組み合わせた授業を行います。その評価は、学習成果の到達目標に対する達成度により行います。

専攻科
物質工学専攻は、ディプロマポリシー(学位授与の方針)に掲げた知識・技能などを高め、学士(工学)の学位を取得可能な教育課程を編成します。そして、国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラム「技術者が備えるべき能力」を育成する講義、演習、実習、実習又は実習を適切に組み合わせた授業を行います。その評価は、学習成果の到達目標に対する達成度により行います。

講義: 29.0 単位
演習: 5.0 単位
実映実習: 3.0 単位

講義: 27.0 単位
演習: 2.0 単位
実映実習: 4.0 単位

講義: 25.0 単位
演習: 1.0 単位
実映実習: 8.0 単位

講義: 44.0 単位
演習: 0.0 単位
実映実習: 25.0 単位

講義: 33.0 単位
演習: 2.0 単位
実映実習: 20.0 単位

講義: 42.0 単位
演習: 2.0 単位
実映実習: 20.0 単位

講義: 24.0 単位
演習: 4.0 単位
実映実習: 10.0 単位

科目名 = 講義
科目名 = 演習
科目名 = 実映実習

※ 生産システム・環境工学プログラムにおいて、対応する学習・教育到達目標の達成に重要な位置づけにある科目には○、特に重要な位置づけにある科目には◎を付している。

